

上田市公共交通活性化協議会 会議録

1 協議会名	上田市公共交通活性化協議会
2 日時	令和8年6月1日（月曜日） 13:30～15:15
3 会場	上田市役所 5階 大会議室
4 出席者	27名中 22名 出席
5 会議概要作成年月日	令和8年6月2日
協 議 事 項 等	

- 1 開 会（事務局 上田市交通政策課 下林課長）
  
- 2 あいさつ（皆瀬会長）
  
- 3 委員の紹介（名簿配付）（事務局 上田市交通政策課 下林課長）
  - ・新任委員より地域公共交通について感じていることに触れつつ自己紹介をいただく。
  
  - 国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局 渡邊委員
    - ・地域内フィーダー系統補助や利便増進実施計画などの補助金の部分について審査等をしている関係で協議会に参加している。
    - ・厳しい状況の公共交通について、委員の皆さんの話を伺っていこうと感じている。
    - ・2年前に北陸信越運輸の交通企画課の方におりまして、その際実施計画の方の事務を行っていたところである。こちらの方についても、引き続き関係できることは大変喜ばしいと感じている。
  
  - 長野県 企画振興部 交通政策局 交通政策課 酒井委員（代理：飯田主事）
    - ・4月から交通政策課に配属された。
    - ・上田市に縁があるので、今回の会議でも情報を吸収したい。
  
  - 長野県 上田地域振興局 企画振興課 渡辺委員
    - ・現在人口減少や高齢化の進行に伴い、地域公共交通を取り巻く環境というのは大きく変化している。
    - ・この上田地域においても、持続可能な交通体系の構築が重要な課題だと思っている。特に移動手段の確保というのは、日常生活ではだけではなくて地域の活力の維持にも直結するものとして認識している。
    - ・本協議会を通じて、関係者の皆様とともに知恵を出し合いながら、よりよい地域交通のあり方を検討していきたい。
  
  - 上田市 福祉部 長田委員（代理：西川課長）
    - ・代理の福祉課長の西川と申しますが、よろしくお願ひしたい。
  
  - 上田市自治会連合会 伊藤委員
    - ・末広町の自治会長を拝命して、もう10年経つ。末広町というのはここから歩いて3分4分の場所にある。
    - ・この自治会に住んでいるとバスに乗る機会がない。
    - ・皆様方の意見を聞きながら必要な部分でアドバイスしていきたい。

○上田市社会福祉協議会 中村委員

- ・社会福祉協議会では、主に高齢者や障害者といった弱者を対象としているサービスを行っている。
- ・特に老人福祉センターや高齢者福祉センターといったものを市から指定管理を受けて現在管理を行っている。
- ・高齢者福祉センターにはオレンジバスといった公共交通機関が走っており、お年寄りにはオレンジバスに乗って、毎日高齢者福祉センターに来るといったこともあり、大変公共交通の重要性を感じている。

○上田婦人団体連絡協議会 小宮山委員

- ・バスを利用するのは、学生や高齢者が主に利用者だと思うが、今の現状を維持していきたいと思っている。
- ・要望だが、バスを利用する際、手元に時刻表がなく、停留所まで行ってメモをする必要があるのだが、時刻表がほしいといった要望が出ている。

○上小高等学校長会 弓削委員

- ・交通弱者である高校生の足の確保をお願いしたいという立場となる。
- ・上田市の方では非常に弱者に対しての手厚い取り組みをしていただいているが、県内では路線バスの廃止案が出ているところであるが、今後とも高校生のためにも協力をお願いしたい。

○国土交通省 長野国道事務所 小林委員（代理：市川所長）

- ・通勤で、新幹線を利用しているが、通勤場所近くに路線バスがなく路線バスがあればと感じている。

○上田市 都市建設部 管理課 木内委員（代理：矢野補佐）

- ・市道の管理者という立場で本協議会に参加している。

○長野県タクシー協会 上小支副部長 玉井委員

- ・現在、神川地区の移動支援等の仕事をしているが、タクシー業界は人材不足で、運転手不足な現状である。
- ・引き続き、上田市に貢献したい。

○長野県タクシー協会 上小支部長 一之瀬委員

- ・タクシーは、ビジネス、観光といった利用もあるが、地域社会の生活のインフラとしての役割が一番重要ではないかと考えている。
- ・業界全体では、相変わらずドライバー不足ということに悩まされているが、上田市の積極的な取り組みをいただきながら、24時間365日、ライフラインの維持向上にこれからも努めていきたい。

○千曲バス株式会社労働組合 青木委員（代理：塚田上小支部長）

- ・路線の維持のためには、我々乗務員の待遇改善が必須である。
- ・利用者から貸切バスの相談を受けることがあるが、市においても広い視野で補助等を検討いただきたい。

○上田電鉄株式会社 高田委員

- ・別所線については一昨年比べ、昨年度は約7万7000人増加した。
- ・昨年3月に行ったダイヤ改正、の効果と考えている。
- ・引き続き別所線の乗降人員を増やすために、皆様の意見を参考にしながら取り組んでいきたい。

○しなの鉄道株式会社 経営企画課 太田委員

- ・しなの鉄道は、バス路線、タクシーなどと接続しており、多くのお客様に利用いただいている。
- ・この会議を通じて、皆様と連携しより良い公共交通となればと考えている。

○東日本旅客鉄道株式会社 長野支社 上田駅 矢彦沢委員

- ・鉄道を起点として、地域の発展にどう貢献するかということでもありますので、上田市では上田駅で接しているの、上田市の発展に寄与できればというふうに思っている。

○ジェイアールバス関東株式会社 小諸支店 小林委員

- ・長町から上田駅まで路線バスを1日6本、朝と夕方を中心に主に高校生をメイン運行している。
- ・運行本数非常に少ないが、最低限高校生の足として担っている。
- ・バス業界は、非常に今厳しい状況になっており、乗務員不足や利用者が不足しており、様々な課題があるが、みなさんと意見を交換しながら、利便性を上げるために取り組んでいきたい。

○東信観光バス株式会社 営業部 篠原委員

- ・大屋駅から立科町、それから丸子駅から立科町、佐久地区等にまたがった路線を運行している。
- ・運転手不足、それからやはり乗客の減少といった状況ではあるが、ご支援をいただきながら、特に運転手の確保というものを積極的に進めたいと思っている。

○千曲バス株式会社 白鳥委員

- ・公共交通活性化協議会ということで、路線バスを中心とした話ではあると追うが、利用者は学生や高齢者など多くなっている。
- ・委員の構成において、教育系の部署や福祉系の部署が入り議論できれば良いのではないかと思う。
- ・バス運転手については、利用者からは日々クレームが入ることがあるが、バス運転手が少なくなっている中で、皆さんといろいろと話ができればと考えている

○上田バス株式会社 舟見委員（代理：川端所長）

- ・昨年からの利便増進事業に伴い、時刻表の見直し等を行い令和7年度夏季には全体前年比を上回る収入となったが、収益面では大きな損失となっている。
- ・苦しい経営状態であることは変わりなく、今後も更なる支援をお願いしたい。

○上田市公共交通活性化協議会 福本副会長

- ・本協議会に関わるようになり、4～5年となる。最初のうちに事業者から運転手不足による減便という話があった。
- ・令和7年10月からの利便増進事業により、現在、復便ということとなり、委員の皆さんに努力いただいた結果であり、住民の皆さんの理解もあって実現ができ非常に良かったと思っている。

- ・全国的に減便が増えている中、増便する取り組みというのは、非常に珍しく、関係者には注目されているところである。
- ・本協議会では、自宅近くの停留所の困りごとなどなんでもよいので、意見を発言してもらいたいと考えている。

○上田市公共交通活性化協議会 皆瀬会長

- ・公共交通は、乗れば非常に便利で、快適であり、将来にわたって維持確保していかなければいけないというふうに日頃から感じている。おります。
- ・活発な議論を通じて、持続可能な公共交通の実現に向かっていければと考えている。

#### 4 協議事項

(1) 令和7年度 事業報告及び決算(案) (監査報告) について (事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・ 協議資料1-1 から 協議資料1-5 に沿い説明
- ・ 監査員を務める上田地域振興局企画振興課渡辺課長より監査報告

※意見質疑なし

⇒令和7年度 事業報告及び決算(案) (監査報告) 協議資料1-1 から 協議資料1-5 について、  
原案のとおり承認

(2) 令和8年度 事業計画及び予算(案)について (事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・ 協議資料2-1、協議資料2-2 に沿い説明

※意見質疑

○上田市公共交通活性化協議会 福本副会長

- ・ 資料2-1の2ページ目の②きめ細やかなサービスが可能なタクシー事業の活用について、市としてルール化をするなど検討しても良いのではないかと。
- ・ 資料2-1の3ページ目のGTFSについて、観光にこそGTFSが必要だと考えている。例えば、経路検索の結果に合わせてワイン1杯サービスなどの情報も掲載することが可能であるため、是非活用してほしい。

○事務局 上田市交通政策課 坂口補佐

- ・ 移動支援事業のルール化については、すべての地域で同じルールにすることはできないと考えるが、それぞれの地域で形態を考えてもらうことをルール化するなど検討したい。
- ・ GTFSについて、提案のとおり検討したい。

⇒令和8年度 事業計画及び予算(案) 協議資料2-1、協議資料2-2 について、  
原案のとおり承認

(3) 地域間幹線系統確保維持計画(案)について (事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・ 協議資料3-1、協議資料3-2 に沿い説明
- ・ 運行事業者である上田バス株式会社、千曲バス株式会社より 協議資料3-2 に沿い計画の説明
- ・ 長野県交通政策局交通政策課飯田主事より、今後の流れを説明

※意見質疑

○上田市公共交通活性化協議会 福本副会長

- ・本協議事項は、国の補助金のために実施している協議内容である。
- ・今回、バス事業者から口頭で説明があった利用者減少の理由など、是非カルテ内にも記載し、評価をしていただきたい。

⇒地域間幹線系統確保維持計画(案) 協議資料3-1、協議資料3-2について、  
原案のとおり承認

(4) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について(事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・協議資料4-1、協議資料4-2に沿い説明
- ・運行事業者である上田バス株式会社、千曲バス株式会社より協議資料4-2に沿い計画の説明

※意見質疑

○上田市公共交通活性化協議会 福本副会長

- ・1月の協議会において、データを整理し、数字の変化について議論していきたい。
- ・柵津線において、利用者が減少し心配な面があるが、生活に直結するような路線の場合、ダイヤ改正や路線の見直しで、今までの利用者が一度離れてしまうことがある。長い目で、利用者の定着を待つことも必要で、チラシを配るなど地道な活動も必要である。

⇒地域内フィーダー系統確保維持計画(案) 協議資料4-1、協議資料4-2について、  
原案のとおり承認

(5) 路線の新設について(菅平高原線ほか)(事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・協議資料5-1、協議資料5-2に沿い説明

※意見質疑なし

⇒路線の新設について(菅平高原線ほか) 協議資料5-1、協議資料5-2について、  
原案のとおり承認

## 5 報告事項

(1) 上田市地域公共交通計画の進捗管理等について(速報値)(事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・報告資料1に沿い説明

※意見質疑なし

(2) ゾーン制運賃の2年目以降の届出について(事務局 上田市交通政策課 坂口補佐)

- ・ 報告資料 2-1、報告資料 2-2 に沿い説明

※意見質疑なし

(3) QRコード決済実証実験の実施状況について（事務局 上田市交通政策課 坂口補佐）

- ・ 報告資料 3-1 に沿い説明

※意見質疑なし

5 その他（事務局長 上田市交通政策課 下林課長）

※意見質疑

○千曲バス株式会社労働組合 青木委員（代理：塚田上小支部長）

- ・千曲バスの路線では、外国人労働者の乗車が増えていると感じている。その点に関して、何か取り組みなどを検討いただきたい。

○事務局 上田市交通政策課 坂口補佐

- ・今年度、〇〇×公共交通をテーマに様々な関連団体と連携したいと考えている。
- ・外国人を対象とした乗り方教室など、検討したい。

6 閉 会（事務局長 上田市交通政策課 下林課長）